

西鶴賀便り

発行
長野市中心市街地
活性化協議会
長野県建築士会
ながの支部
協力
西鶴賀町

11月のイベントで会場に...

トヨダ屋履物店

におじゃましました。



11月20日(日)〜23日(祝・水)、
まちなか各所で「門前まきものこ
まろ2」が開催されます。主催
は『着物を楽しく日常に』を合
言葉に活動する有志の会

「まきものさいせい」。着物にまつ
ある14の企画があり、西鶴賀
町ではトヨダ屋履物店を会場
にした「つなぐ市」帯アート結長
や、つばめタクシー滝沢さん案内の
「まちあるき&西鶴賀公民館で

門前の小僧だったけど、店を継ぎ
と思った時には親父は亡くなっていて。
取引先の問屋に改めて教わったり、
それを撮影して観たり、店の在庫
を使って感覚を上げました。



店主 町田孝夫さん(66)

作業時につける前かけ。
「いつからあったかは分かんない。
かなり古いものだとは思ふよ。」

町田さんの(主な)作業道具



- ① 穴あけ(先端がスクアー)
- ② 穴あけパンチのようなもの
- ③ 裏打ちする時のホチキスのようなもの
- ④ くじり(中) ⑤ くじり(小) ※穴あけ
- ⑥ ていぼう(畳表に鼻緒を通すときに使う)
- ⑦ 金づち(かかとのクギ打ちなど)
- ⑧ 木づち(鼻緒の先端を叩いてならす)
- ⑨ 台(木づちとセットで使う)

使い込まれたイスと
座布団の組み合わせが
糸色少にかあいがた!!
『箱山ふとん店』で家の
布団を打ち直して作っ
てもらったものらしい。

創業は昭和元年ごろ。
看板先頭のマークは、桐の角
材から下駄を作る職人だった
初代・政治さん(町田さんの祖父)の「正文」
の字がモチーフ。同じマークが入った旧店舗の
鬼瓦はお店の入口に展示されている。

店内の鼻緒は300〜400種類!
ザ・和木肉のほか、幾何学模様や
ペイズリー柄、花柄などなど、
素材や織りもそれぞれ違って、
見ているだけで楽しい。

下駄やぞうりの台は、「焼き物」
「白木」のほか、糸状にした和紙
の織り地を張った「シコロ張り」
などがある。日常的な着物や
ゆかたに合わせる下駄は、
洋服に合わせても素敵だとか。

今年11月7日から!
冬入りの風物詩として町の
なさまにはお馴染みかもしれ
ない「エビスパン」のシネトレン
クリスマス数週間前から当日
まで、毎日少しずつスライスし
てたのしむためのお菓子のよ
うなパンですが、昨年、一日で
食べきり回数買い直したに
あかファン編集室が、食べ方
のコツや、製造にまつあるあ
れこれを伺ってきました。今年
またのしみます!!



1ヶ月半、洋酒に漬けたドライフルーツがどっさり。
少量で濃厚な味わい。スライスしながらこぼれ落ちたドライフルーツを
つまむのもまたよし。そうやって「あと一切れ」
が止まりません...

古着屋 福島く 日記②

そういう前、部屋の中でネコと会った。
飼っているネコではない。西鶴賀産 野良猫である。
そもそもこの町ではネコを見ない日はない。
朝一番で気持ちの良い風を入れようとカーテン
を開ければ、すかさずネコ。洗濯物を干そう
とベランダへ出れば、日向ぼっこしているネコ。
出かけようと商店街へ出れば、散歩中のネコ。
そろそろ寝ようと布団へ入れば、屋根の上で
話し聞中のネコ。
それがついに自分の部屋にも、ネコである。
ここまでくると驚きもない。会話はなく
とも、挨拶ぐらいはできているだろう。
もはやこのシェアハウスのメンバー
は、2人とネコ数匹なのである。

「店でシネトレンを売り始め
たのは、休業から帰ってきた20
年前からですかね。最近
テレビでも見かけるけど、当時は
「これなんに?」って感じで、陳列
分と同じくらい試食してもらって
ました。毎年、秋祭りが終わる
とその年の販売見込みを立て
てフルーツの仕込みを始めます。
一週間寝かせて、混ぜてを
一ヶ月半 繰り返すんですけど、
1ヶ月半、洋酒に漬けた
ドライフルーツがどっさり。
少量で濃厚な味わい。
スライスしながらこぼれ
落ちたドライフルーツを
つまむのもまたよし。そうやって「あと一切れ」
が止まりません...



田中大吾さん

10月16日(日)パタンク大会 Aチーム優勝!! Bチーム4位入賞 / 10月30日(日)ソフトボール大会 Aチーム3位入賞! おつかれさまでした!!